

岐阜県“人間と性”教育研究協議会

2022年9月例会 『貧困～浮き彫りになる若者の性』

講師：金子由美子さん (NPO法人さいたまユースサポートネット副代表、さいたま市若者自立支援ルーム南浦和所長)

※会場で、講師はZoom配信し参加者対面の例会です。(ハイブリットではありません。)

○日 時: 2022年9月4日(日)13:40～16:20

○会 場: 岐阜市北部コミュニティセンター防災室(岐阜市八代1丁目11-13)
<岐阜バス>三田洞線「福光球場前」下車徒歩1分

○参加費: 岐阜性教協会員 500円、一般 1,000円(当日受付にて)

○申込方法: 8/29(月)までに、岐阜性教協ホームページの申込みフォームまたはメールアド
ningento@plum.ocn.ne.jp宛、「お名前・電話番号・一般 or 岐阜性教協会員」を記載のうえお申し込み
ください。コロナ禍で、当日受付はいたしません。変更の場合、詳細は8月下旬ごろ、岐阜性教協のホームページ
にてお知らせします。(申込者にメールします。)

【講師のプロフィール】

講師の金子由美子さんは、長年中学校の養護教諭を務め、性教育やジェンダー平等教育の推進役となり、一般社団法人“人間と性”教育研究協議会代表幹事、一般社団法人日本思春期学会理事、NPO法人チャイルドライン支援センター理事などをされています。

現在は、10代から30代の、子ども・若者自立支援組織NPO法人さいたまユースサポートネットの副代表、さいたま市若者自立支援ルーム所長を務められています。『思春期ってなんだろう』『保健室の恋バナ+@』(岩波ジュニア新書)など、思春期や性教育の著書多数、読売新聞「先生の相談室」連載中

【金子由美子さんからのメッセージ】

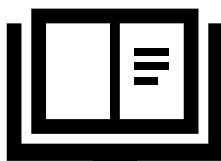
いじめ、不登校、ひきこもり、虐待、性虐待、ヤングケアラー、きょうだい児、など、様々な生きづらさが重なっている子ども・若者たちの自立のサポートをしています。コロナ禍において、彼らの生きづらさが、より一層深刻な事態になり、恋愛や性にまつわる悲しい出来事が頻発しています。でも、安心安全な性の学びの場を体験させることで、彼らの生きる希望につながっています。

事例を通しそれぞれ、一緒に学びあいましょう。そして、信頼できるおとの役割について、考えてみましょう。

<お願い>

新型コロナ感染症対策について十分な対策を行いますが、参加者の皆様に以下お願いします。

1. 当日はマスク着用をお願いします。咳エチケット、手洗い、手指の消毒にご協力お願いします。
2. 当日検温し、発熱、咳など体調が良くない場合は、参加をお控えください。
3. 事前申し込みで、記載いただく氏名、連絡先について、万一施設内で感染者が発生した場合の濃厚接触者の把握に利用することがあることをご了承ください。



岐阜県“人間と性”教育研究協議会
〒500-8879

岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館310

TEL&FAX:058-201-6730

(木曜日午後事務所オープン)

URL:<http://ningento.sakura.ne.jp>

E-mail:ningento@plum.ocn.ne.jp